

## 第 134 回 埼玉県内企業経営動向調査－2026 年 1～3 月期－

調査対象：県内企業 500 社

調査方法（期間）：アンケート方式（2026 年 1 月 19 日～2 月 27 日）

回答企業：150 社（回答率 30.0%） 業種別内訳：製造業 74 社 非製造業 76 社

調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、**良い・増加・過大**と回答する割合から  
**悪い・減少・不足**と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2025 年 11 月 28 日	156.32	50,253.91
(今回) 2026 年 2 月 27 日	156.09	58,850.27

### 概況

埼玉県内企業の景況感（全産業）は 3 期ぶりに小幅に悪化している。

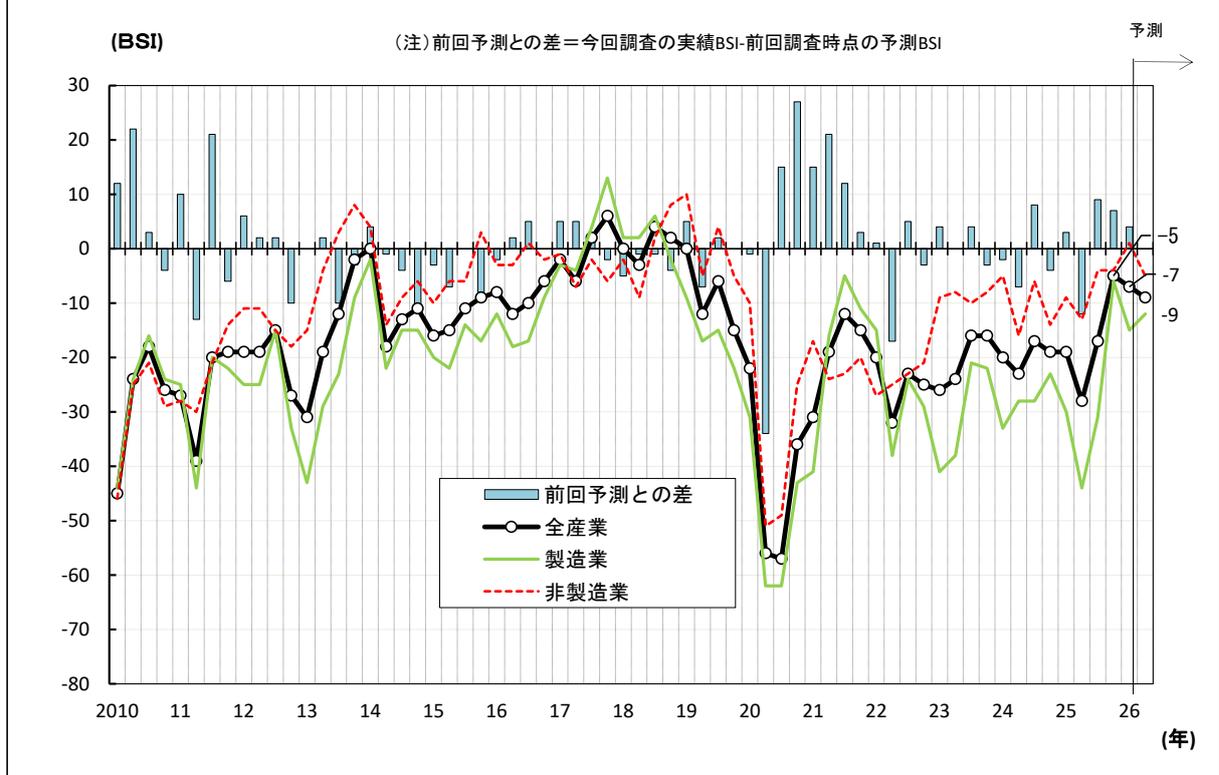
今回調査（2026 年 1～3 月期）の業況判断 BSI は－7 と、前回 10～12 月期調査（－5）に比べ、マイナス幅が 2 ㊦拡大している。景気が緩やかに回復を続ける中、旺盛な建設需要、パソコン需要の継続などがみられるものの、自動車関連等では受注が低調な先がみられている。また、今期は、原材料・仕入価格 BSI の「上昇」超が拡大する一方、販売価格 BSI の「上昇」が一服していることなどから、経常利益 BSI の改善に足踏みがみられていることなども、上記の要因として挙げられる。

業種別にみると、製造業では、素材型、加工組立型ともに「悪い」超幅を拡大しており、業況判断 BSI はマイナス幅が 9 ㊦拡大している（前回－6→今回－15）。素材型の金属製品、加工組立型の一般機械器具におけるマイナス幅の拡大が目立つ（自動車向けと一部産業機械向けの受注の下振れ）。非製造業では、業況判断 BSI は前期比 5 ㊦改善し、「良い」超に転化している（前回－4→今回 1）。一般建設が 3 期連続して「良い」超となっているほか、小売、その他非製造業において「良い」超に転化している。

先行き（2026 年 4～6 月期）については、業況判断 BSI は、製造業は、3 ㊦改善するものの、非製造業では 6 ㊦悪化することから、全体では－9 とマイナス幅が 2 ㊦拡大する見通しとなっている（今回－7→先行き－9、製造業：今回－15→先行き－12、非製造業：今回 1→先行き－5）。各国の通商政策の影響や海外経済、為替や物価動向、これらを映じた県内企業の業績に不透明感が残存しており、非製造業では先行きを慎重にみている。

（本調査は、米国、イスラエルのイラン攻撃前に実施したものである）

図表1. 業況判断BSIの推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」)

埼玉県内企業の業況感 (全産業) は 3 期ぶりに小幅に悪化している。

今回調査 (2026 年 1~3 月期) の業況判断 BSI は -7 と、前回 10~12 月期調査 (-5) に比べ、マイナス幅が 2 割拡大、ほぼ横ばいとなっている。景気が緩やかに回復を続ける中、旺盛な建設需要、パソコン需要の継続などがみられるものの、一部業種 (輸送機械) において発注を先送りないし手控える動きがみられている。また、今期は、原材料・仕入価格 BSI が「上昇」超を拡大する一方、販売価格 BSI の「上昇」が勢いを欠いており、経常利益 BSI の改善に足踏みがみられていることなどが、要因として挙げられる。

業種別にみると、製造業では、素材型、加工組立型ともに「悪い」超幅を拡大しており、業況判断 BSI はマイナス幅が 9 割拡大している (前回 -6→今回 -15)。素材型の金属製品、加工組立型の一般機械器具において業況判断 BSI のマイナス幅が拡大しているのが目立つ。非製造業では、業況判断 BSI は前期比 5 割改善し、「良い」超に転化している (前回 -4→今回 1)。一般建設が 3 期連続して「良い」超となっているほか、小売、その他非製造業において「良い」超に転化している。

図表 2 規模別・業種別業況判断 B S I

	2024年		2025年				2026年		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		4~6月 (先行)
							前回予測	今回	
全産業	-17	-19	-19	-28	-17	-5	-11	-7	-9
規模の小さい企業(100人未満)	-22	-26	-30	-34	-22	-10	-17	-7	-11
規模の大きい企業(100人以上)	-11	-13	-10	-21	-11	0	-5	-7	-7
製造業	-28	-23	-30	-44	-31	-6	-21	-15	-12
規模の小さい企業(100人未満)	-31	-29	-43	-45	-31	-9	-26	-15	-15
規模の大きい企業(100人以上)	-24	-16	-17	-44	-31	-3	-15	-15	-9
素材型	-27	-17	-20	-23	-15	0	-17	-11	-6
紙加工品等	-11	0	-13	0	0	0	-33	-14	0
化学・プラスチック・ゴム製品	-22	-33	-14	-13	0	30	30	10	20
鉄鋼・非鉄金属	-25	-33	-20	0	-20	0	0	25	25
金属製品	-33	0	0	-20	-40	14	-43	-50	-50
その他素材型	-38	-22	-40	-56	-20	-44	-44	-27	-27
加工組立型	-35	-30	-38	-69	-52	-15	-26	-25	-22
一般機械器具	-50	-8	-30	-57	-63	-25	-25	-86	-43
電気・情報通信機械器具	-33	-71	-57	-57	-63	-25	-25	-17	-33
電子部品・デバイス	-40	-40	-67	-100	-57	-17	-50	-33	-33
輸送機械	-17	-33	-43	-43	-14	-11	-33	-11	0
精密機械	-25	0	25	-100	-67	33	33	60	20
生活関連型	0	-29	-33	-33	0	0	-14	25	25
飲・食料品	0	-33	-50	-40	0	0	-17	33	33
非製造業	-6	-14	-9	-13	-4	-4	-3	1	-5
規模の小さい企業(100人未満)	-11	-21	-15	-23	-13	-10	-8	3	-6
規模の大きい企業(100人以上)	-2	-9	-4	-3	5	2	2	0	-5
一般建設	6	-6	-6	0	6	13	7	7	-7
卸 売	-21	-42	-23	-31	-12	0	0	-7	0
小 売	-6	6	-12	-7	7	-13	0	20	0
運輸・倉庫	0	-13	-20	-25	-14	-13	-38	-33	0
不動産	-17	-40	0	-43	-50	-20	-10	-25	-25
その他非製造業	0	-23	7	8	7	-7	7	7	-7

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～全産業では3期ぶりに「減少」超～

全産業では、3期ぶりに「減少」超となり、前期比20%悪化している。業種別にみると、製造業では、前期比29%悪化し3期ぶりに「減少」超となっている。加工組立型は、「増加」超を継続しているが、素材型は37%悪化し「減少」超となっている。一方、非製造業では、10%悪化したが、2期連続して「増加」超となっている。内訳をみると、一般建設、不動産が「増加」超となっている。規模別にみると、規模の小さい企業、規模の大きい企業とも3期ぶりに「減少」超となっている。

図表3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 25年7～9月期	(前回調査) 10～12月期	(今回調査) 26年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全産業	5	17	- 3	1
製造業	10	21	- 8	4
非製造業	0	13	3	- 1
規模の小さい企業	5	12	- 3	- 3
規模の大きい企業	4	22	- 3	6

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～全産業では「減少」超に転化～

全産業では、12%悪化し「減少」超に転化している。業種別にみると、製造業は20%、非製造業は4%悪化し、いずれも「減少」超となっている。製造業の内訳をみると、加工組立型が7%改善したものの、素材型が37%の大幅悪化となっている。非製造業は、建設業、卸売業、運輸・倉庫業が「減少」超に転じている。規模別にみると、規模の大きい企業、小さい企業とも「減少」超に転じている。

図表4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 25年7～9月期	(前回調査) 10～12月期	(今回調査) 26年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全産業	- 5	4	- 8	- 4
製造業	- 3	8	-12	- 7
非製造業	- 6	0	- 4	- 1
規模の小さい企業	- 6	5	- 5	- 7
規模の大きい企業	- 3	3	-11	- 1

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」）

～全産業では「減少」超で横ばい～

全産業では、「減少」超で、前期比横ばいとなっている。製造業は、2 割「減少」超幅を縮小しており、加工組立型は「増加」超に転じている。非製造業は、「増加」と「減少」が均衡している。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 25年7～9月期	(前回調査) 10～12月期	(今回調査) 26年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全産業	－ 5	－ 1	－ 1	－ 1
製造業	－ 6	－ 3	－ 1	－ 4
非製造業	－ 2	2	0	5
規模の小さい企業	－ 7	－ 7	－ 5	－ 2
規模の大きい企業	－ 2	6	4	0

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」）

～全産業では「過剰」超に転化～

全産業では、「過剰」が前期比 4 割強まり、2 期振りに「過剰」超となっている。製造業は、3 割「過剰」が強まり、2 期ぶりに「過剰」超となっている。一方、非製造業は、前期比 3 割「不足」超幅が縮小したものの、6 期連続して「不足」超となっている。また、規模別にみると、規模の小さい企業は、「過剰」超に転じているが、規模の大きい企業は「不足」超が続いている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 25年7～9月期	(前回調査) 10～12月期	(今回調査) 26年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全産業	4	－ 3	1	0
製造業	9	0	3	1
非製造業	－ 1	－ 5	－ 2	－ 2
規模の小さい企業	5	－ 4	3	1
規模の大きい企業	1	－ 1	－ 1	－ 1

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」）

～全産業では「不足」超幅が縮小～

全産業では、「不足」超幅が 5 割縮小している。業種別には、製造業は 14 割「不足」超幅が縮小する一方、非製造業では 4 割「不足」超幅が拡大している。製造業では素材型、加工組立型、生活関連型とも「不足」超幅が縮小している。非製造業は、一般建設、小売、運輸・倉庫では「不足」超幅が 70 を超えるなど、人員不足感が更に強まっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 25年7～9月期	(前回調査) 10～12月期	(今回調査) 26年1～3月期	(先行き) 4～6月期
全産業	－29	－43	－38	－33
製造業	－15	－39	－25	－25
非製造業	－41	－47	－51	－41
規模の小さい企業	－27	－38	－31	－28
規模の大きい企業	－31	－49	－45	－37

7. 資金繰り BSI (「楽である」 - 「苦しい」) ～全産業では「苦しい」超が拡大～

全産業では、3 期悪化し、6 期連続して「苦しい」超となっている。業種別にみると、製造業では 5 期悪化、「苦しい」超を続けているほか、非製造業では 1 期悪化し、「楽である」と「苦しい」が均衡する水準となっている。また、「規模の小さい企業」は「苦しい」超を継続しているほか、「規模の大きい企業」は 8 期悪化し、「苦しい」超に転じている。

図表 8 資金繰り BSI

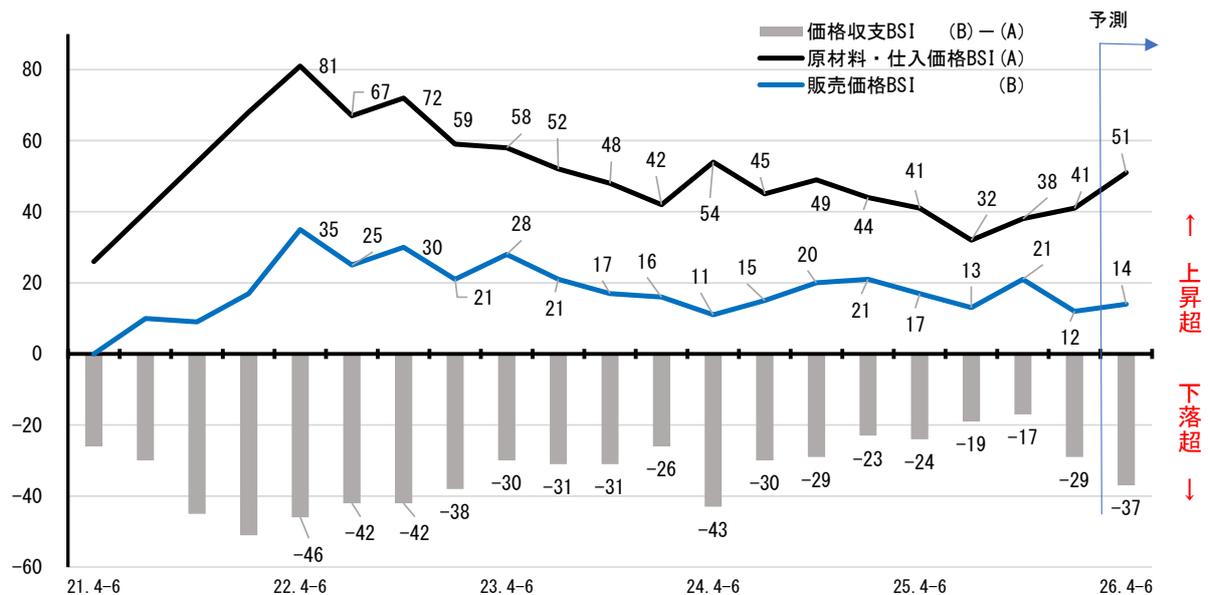
	(前々回調査) 25 年 7～9 月期	(前回調査) 10～12 月期	(今回調査) 26 年 1～3 月期	(先行き) 4～6 月期
全産業	- 3	- 1	- 4	- 7
製造業	- 4	- 3	- 8	- 7
非製造業	- 1	1	0	- 7
規模の小さい企業	- 4	- 7	- 7	- 8
規模の大きい企業	- 1	7	- 1	- 6

8. 原材料・仕入価格 BSI、販売 (受注) 価格 BSI (「上昇」 - 「下落」)

～全産業では価格収支 BSI は 12 期の大幅悪化～

原材料・仕入価格 BSI は、2 期連続して上昇している (25/10～12 月 : 38→26/1～3 月 : 41、3 期上昇) が、販売 (受注) 価格 BSI は 2 期ぶりに下落している (25/10～12 月 : 21→26/1～3 月 : 12、9 期下落)。この結果、今期の価格収支 BSI は、12 期悪化している (25/10～12 月 : -17→26/1～3 月 : -29)。

図表 9 価格収支 BSI、原材料・仕入価格 BSI、販売価格 BSI



以上